

平成23年5月17日
全国養鶏経営者会議

全鶏会議の鶏卵街頭PR活動 ～たまご消費拡大作戦～のアピールに向けて

当経営者会議(全鶏会議)は、安全・安心で、健康に良く、美味しい国産鶏卵のすばらしさを消費者のみなさんにアピールするため、そして東日本大震災や鳥インフルエンザの影響を受けながらも、頑張る生産者の現状について理解を得るため、下記の通り街頭PR活動を実施します。

テーマは、たまご消費拡大作戦～皆様のため生産者はこれからも頑張ります～宣言について。

たまごを巡る現状は現在非常に厳しいものになっております。他の食材と比べ、戦後60年間ほとんど値段が変わってない“価格の優等生”と言われるが…生産者は再生産できない程に厳しい現状です。加えて、鳥インフルエンザや東日本大震災などで生産者は安心して経営を行えない現状です。

ですが、たまごは料理のバリエーションが多様で毎日美味しく飽きずに食べられる食品です。今回の宣伝で、多くの国民に経済的で健康的になってもらえるため、なるべく多くの報道PRをいただきますよう、よろしく願いいたします。

生産者にとって厳しい現状ですが、それを打破するべく当経営者会議では、“鶏卵”の素晴らしさを国民に伝え、今後も消費拡大運動を展開していきますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

記

1. 日時;全鶏通常総会終了後
5月19日(火)全鶏通常総会終了後、16時～17時頃(メド)
2. 場所;JR有楽町駅前 交通会館・入口前(下記地図参照)
※昨年度の場所と同様です。
東京都千代田区有楽町二丁目10番1号
地下に駐車場あり
3. 内容;チラシ、ポスター、卵(6個入り)配布等を通じての呼びかけ
4. 人員;会員・関係者 数十名

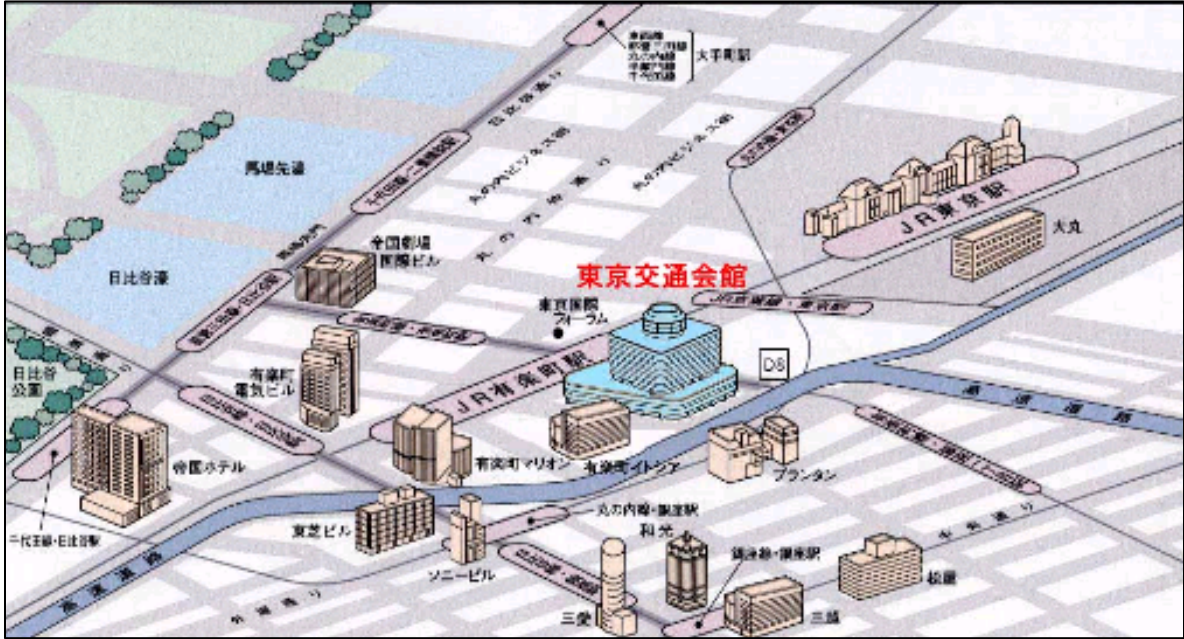
<お問い合わせ先>全国養鶏経営者会議事務局(担当:海藤)
東京都千代田区二番町9-8 中労基協ビル2階会議室(全国農業会議所内)
電話:03-6910-1124、FAX:03-3261-5131

<アクセス方法>

J R: 有楽町駅前 (京橋口、中央口・銀座側)

地下鉄: 有楽町線 有楽町駅直結 (出口D8)

丸ノ内線・日比谷線・銀座線 銀座駅 (出口C9)



東京交通会館前
東京都千代田区有楽町
2丁目10番1号

全鶏養鶏経営者会議の概要

会員数：約260人（全て個人会員）

会長：彦坂 誠（神奈川中央養鶏）

<概要>

全国養鶏経営者会議は、中小養鶏を中心に自主独立の鶏卵経営の確立を目指す先進的生産者の組織です。他の経営者会議に先がけて昭和42年に設立、今年で40周年を迎えました。北海道から沖縄まで約260人の会員がおり、その大層が5～15万羽の中小養鶏経営者で占められています。

活動の中心は各種セミナー・勉強会による研さん活動です。同じ生産者という立場でオープンに情報交換し、お互いのデータを見せ合って学ぶことが、この組織の一番の特長です。

現在、配合飼料の高騰など養鶏業界をめぐる状況は年々厳しくなっていますが、これら経営負担の軽減や打開策を講じるべく、研究会・セミナー開催、調査、情報収集・提供を土台に、日々、積極的に取り組んでいます。

最近では、食品残さを利用した“エコフィード”の研究会、サルモネラ対策セミナー、飼料米・新鶏舎の視察なども行いました。本会の活動は会員の要望・意思に基づいて決定されており、会員の中心層である中小養鶏が明るい展望を開けるよう、“生産者の生産者自身による生産者のための”組織を目指しています。

<主な活動内容>

- 飼料セミナー等、各種研究会・勉強会（年に6～7回）
- 飼料・ヒナ価格、鶏種導入動向等、各種アンケート調査
- 全鶏ファックスつうしんの送信（月に3～4回）

<今年度の事業の重点>

- ◎経営の安定化に備えた低コスト化、有利販売に向けた経営戦略の確立
- ◎飼料価格の高騰に対処するため、不透明な今後の価格動向に対する情報収集を行い、会員全体の認識を高めると同時に、勉強会を通じて有効策を模索する。

<その他の課題>

- ◎鶏病問題に対する取り組み
- ◎需給均衡の確保対策
- ◎環境にやさしい養鶏経営の確立